

### 1. 建設作業員不足、縫製や海外に流出

プノンペンでは、昨年時点で毎日16万~18万人の建設作業員が必要とされており、今年は人員不足が深刻化しそうだ。プノンペン市建設局幹部は「市内では現在、建設中のプロジェクトが91件あり、大量の作業員を必要としている」と述べた。建設作業員の需要は昨年時点で前年の2倍に上っている。プノンペン都市発展管理委員会の幹部は、建設作業員が不足する原因として、アパレル業界の給与水準が建設業界を上回っている点や、若い労働力が海外に流出している点を挙げた。カンボジアは昨年、タイ、マレーシア、韓国など海外に計72万人の労働力を輸出した。また、タイで不法就労している労働者は50万人に上るとされる。

### 2. シアヌークビルに新港計画、日本が援助か

カンボジア南部のシアヌークビル州では、2022年までに新港の建設が計画されており、このほど日本の政府開発援助(ODA)担当者が現地視察を行った。新港は建設費が9,000万米ドル(約108億円)で、年間処理能力130万TEU(20フィート標準コンテナ換算)が想定されている。同州当局者は「新港プロジェクトは今年6月ごろに準備作業に入り、資金は日本の国際協力機構(JICA)による協力が得られることを望んでいる」と述べた。JICAはこれまでに同州の港湾整備に1億7,800万米ドルの援助を行ってきた。シアヌークビル港はカンボジア最大の港で、貨物取扱量は毎年10~15%のペースで伸びており、今年は400万トンに達すると見込まれている。

### 3. 韓国富栄、プノンペンの複合開発着工へ

韓国の不動産開発大手、富栄(フヨン)は月内にも、カンボジアの首都プノンペンのロシア通り沿いで計画している複合開発「富栄タウン」に本格的に着工する。建設地は、プノンペン国際空港から市内に向かう途中のプラムピー・マカラ(1月7日)立体交差付近にあり、敷地面積は23万6,022平方メートル。当初計画によると、地下4階、地上18階建ての住宅・商業施設複合ビルのほか、マンション47棟を建設する。住宅戸数は最終的に約1万7,000戸となる。富栄タウンは2004年に計画が浮上したが、08年の金融危機で着工が先送りされた経緯がある。富栄は最近、本格着工に向け整地などを進めてきた。

### 4. 大連企業がカンボジアに「中国城」整備

中国・大連市の「中国・東南アジア交流協会」は、プノンペンの東約100キロメートルの地点で同市の企業主導による新都市開発「中国城プロジェクト」を進めている。最終的に12億米ドル(約1,460億円)の投資を見込んでいる。開発地は面積1万ヘクタールで、土地の接収作業は既に完了した。関係当局による認可手続きも進み、これまでに7,000万米ドルが投資されたという。同協会には大連市の企業62社が加盟している。

### 5. タイ商務省、サケオ経済特区開発でカンボジアと協議へ

カンボジアとの国境サケオ県での経済特区開発をめぐる、タイ・カンボジア両国は今月25~27日の日程で事務レベル協議を行う。年末の東南アジア諸国連合(ASEAN)経済共同体(AEC)発足を控え、2国間貿易を年内に60億ドル規模に引き上げる狙いがある。協議には両国の企業関係者も出席し、民間協力に関する覚書を調印する予定だ。予定されている覚書は、商工会議所間の協力▽精米と貯蔵に関する合弁事業▽カンボジア・ポイペト経済特区における25億バート規模の物流センター設置ーなどが含まれる。精米の合弁事業により、カンボジアの米作の生産性向上とコメ市場の拡大が期待されている。

### 6. ストライキ中の労働者に工場側がスタンガンで攻撃か

Kampong Speu州Kong Pisei地区で新たに操業を始めたHor Ling縫製工場では、2/16、200人の労働者がストライキをおこなった。そこで29歳の在庫管理担当であり通訳であるChouk Phallyさんが、スタンガンによって攻撃され、大きな問題となっている。Phallyさんは、「当日、私はプノンペンまで工場の在庫を運ぶようにとの命令を受け出かけました。しかし一部の製品を工場内に積み残してしまいました。プノンペンから工場に帰ると、上司である中国国籍の女性が、大変怒った様子で、あなたは首だと言いました。私はこれまでの給与の支払いを訴えましたが、彼女は工場のギャング達を使い私を外に引っ張り出しました。それから、スタンガンのようなもので私のお腹に電撃を与えたので、私はそのまま意識を失いました。今、私は賠償金として3000ドルの支払いを訴えています」と話す。また、Phallyさんを応援する労働者達はストライキを起し、上司に対して彼に危害を加えたことを認めるように要求している。それに加えて、食費の補

助や医療室の完備、強制残業の廃止なども求めているようだ。ストライキに参加している Kit Chendaさんは、「会社は労働者を威圧しています。私達に対してひどい言葉遣いをしますし、今回は、Phallyさんを突然解雇しました。納得のいく対応をしてもらえるまで、ストライキはやめません」と話す。工場は12月にオープンしたばかりだ。

## 7. 火事で失神した労働者たちが仕事に復帰

2人の妊婦を含む40人以上が失神を起こした Long Let 社靴工場では、2/21の午後からほとんどの労働者が仕事に復帰した。しかし、実際に失神した44人に関しては、2/25まで自宅での休息が認められている。工場責任者の Meng氏は、「電源の問題により、火を焚いていた釜から異常にけむりが発生し、それが労働者の失神の原因になったと考えています。工場は今朝までクローズしていました。工場に重大な損害はありません。失神した44人を除き、大半の労働者が今朝から仕事に戻る予定です。44人には休んでいる間も給料、手当等はきちんと支払います」と話す。Free Trade Union 代表の Nem Saran氏は昨日、「火事が起こった日、釜のなかからどンドン煙があがっていたにも関わらず、マネージャーたちは労働者達を働かせ続けました。同じことがないよう、今回の件から学んで欲しいと思っています」と話した。

## 8. 靴工場で100人が失神

Kandal 州にある靴工場で月曜日、100人以上の労働者が失神したことが国家警察のウェブサイトにより判明した。失神したのは、合計1350人前後を雇用している Grand East Footwear International Corp 社の労働者たちで、すぐに病院や診療所に運ばれていったということだ。「倒れた人々はすぐに治療のため民間の病院などに運ばれていきました」とウェブサイトには記載されている。倒れた原因は化学薬品の匂いだった、と発表しているが、一方で National Social Security Fund (NSSF)は、「失神は、仲間たちが倒れていくのを見た精神的なショックによるものであり、事態の発端は、妊娠7ヶ月の妊婦が目眩を起こし、倒れたことでした。彼女は倒れたことで他の労働者たちはショックを受け、次々と失神を起こしました」と報告している。労務省が今月上旬に発表した統計によると、2014年、縫製工場で失神を起こした労働者の数は1806人。これは2013年と比べて109%増加した数値であった。

## 9. カンボジア国民の健康状態が向上

カンボジアの市民の健康状態や子供の死亡率が、この4年間で改善してきている。第4回 Cambodia Demographic and Health Survey (CDHS)の発表により判明した。今回の調査では、カンボジアのメディカルサービス子供の死亡率、栄養摂取状態、HIV/AIDSやその他性病の知識などについて評価が行われた。調査の対象となったのは、国内の24州にまたがる15825世帯。全回の調査は2010年だったが、この当時よりも大きな改善が見られている。母親が出産で死亡する割合は、2010年は1000人中2.06人だったものが今回は1.70人に減少。また、5歳以下で死亡する子供の割合も、108人から70人に減少している。また、他に顕著な改善が見られた項目には、子供の栄養摂取状態などがある。2010年、5歳以下の子供のうち40%が、慢性の栄養失調により成長に遅れが見られており、歳のわりに身体の小さい状態にあった。しかし今回、その割合は32%に下がっている。「これは大変嬉しい知らせです。この国の子供達の栄養状態の悪さは、危機的なものでしたから」と、World Food プログラムの Edith Heines氏は話した。

カンボジアでは、HIV 予防の知識も、女性の間では77%、男性では87%と、広く普及してきているといえる。しかし、National Centre のディレクター Ly Penh Sun氏は、「最近、バタンバン市の Roka という村で、多くの人が HIV に感染する事態が起こりました。こういったことも、今一度調査して欲しいと思っています」と話した。

## 10. 労働者達を運ぶトラックのドライバーの免許取得計画

通勤途中の事故で負傷・死亡する労働者の数を減らすために、政府は工場のドライバーを教育しライセンスを取得させる計画でいる。また、万が一事故にあったとき、労働者たちが自分で何らかの対応を行なえるようにするために、救急セットの使い方や説明する様子を映したビデオを作成しているということだ。国土交通省の Preap Chanvibol 氏の話によれば、2014年、トラックドライバーの50パーセントほどが、無免許のまま運転していることが別の政府団体の調べでわかったということだ。「今年は、ドライバー達が免許取得の試験を受けられるように、交通ルールについて教育します。これまでは、交通ルールがあることを発信するにとどまっていたが、今後は、法律や道路表示や信号機などについて、具体的に教育をしていきます」と話した。また、オープンベッド・トラック(側面のない開いたトラック)の廃止も、今回の改善案に含まれている。この種のトラックは、労働者たちは立ったまま載らなくてはならず、また、人数を過重に載せていることがよくあるためだ。National Social Security Fundによると、通勤途中に起こった事故で、去年は死者が73人、怪我人が4700人であったことがわかっている。救急セットのレッスンはラジオやテレビなどで流される予定である。

## 11. 政府、民間ゴミ処理会社との契約を見直しか

2月中旬、国会は、民間ゴミ収集会社 Cintri 社との契約を見直す内容の命令文を発表した。プノンペン市内ダイヤモンドアイランドで行われたイベントで、フン・セン首相は、「国のゴミ収集サービスを、もっと強化していきたいと思っています。政府と契約を結んでいる収集会社がどれほどやってくれているか、見直しをしないといけない」とスピーチで Cintri 社のなまえは出てこなかったものの、その意志を表した。Cintri 社はプノンペン市内のゴミ収集を担っている唯一の民間会社である。ここ最近業績が悪く政府から改善を求められていたものの、目に見える進展はなく今回の契約見直しに至っている。環境省のスポークスマン Sao Sopeap 氏は、「政府は Cintri との契約見直しを公に行っているわけではない。また今年度はゴミ収集状況の改善のためおよそ500万ドルの予算を割いている」という。Cintri社のディレクターである Chamroeuns 氏は、「会社は通常通りに運営している」、と話したという。

## 12. 公務員と警官に、クメールニューイヤー・ボーナス

フン・セン首相が全ての公務員と警官隊に対して、「クメール正月のボーナスとして 10 ドルを支給する」、と約束し、「私達には 2 つのチョイスがあると財務省と相談してきました。ひとつめは、全ての公務員に 40000 リエル(約 10 ドル)を支給すること。そしてもうひとつは、一部の公務員には 20000 リエル(約 5 ドル)で、残りは 40000 リエル、というものです。ひとつめの選択にすべきだと、私は進言しました。予定されている賃上げも今年の 4 月には実行されます」と話した。

Kampong Thom 州 Sandan 地区の警察官 Noun Komnith は、「今回の発表に大変嬉しく思っています。大きな金額ではありませんが、ボーナスをもらうなんて初めてのことなのでもちろん歓迎しています」、と話した。しかし、野党のスポークスマン Yim Sovann 氏は昨日、「縫製業の労働者達にとって一番よいのは、賃金自体を上げることである」と話した。また、人権団体 Licaldho の法律アドバイザーである Am Sam Ath 氏は、「旧正月のときは、ボーナスも貰っているようなお金持ちの人の家の周囲には、警官や軍人が張り付いて見張りをする羽目になりました。ボーナスもいいですが、それは一時的な救済策にしかありません。月額賃金の上昇こそが、ベストな方法です」、と話した。

以上